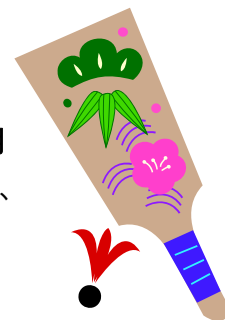


感染症に気をつけよう



1. 全数報告感染症（感染症法における 1～5 類感染症）平成 20 年12月
- 麻しん（はしか）は 6 例の報告がありました。平成 20 年の累計報告数は 1485 例で、全国の約 14%です。年齢別では 10 代が過半数を占め、予防接種前の 0 歳児にも多く発症しています。また、患者全体の約半数が予防接種を受けていません。
- レジオネラ症は 2 例の報告がありました。平成 20 年の累計報告数は 32 例となり、平成 19 年 1 年間の報告数 28 例を上回り、これまでで最も多い報告数となっています。

2. 定点報告感染症（感染症法における 5 類感染症）平成 20 年12月 1 日～12月 28 日

疾患名	市内流行状況	コメント
<u>インフルエンザ</u>		すべての区で流行期に入りました。今後は増えていくと考えられますので動向に注意が必要です。早期のワクチン接種が望まれます。
<u>RSウイルス感染症</u>		例年、インフルエンザに先がけて流行が見られます。乳児や疾患を持つ幼児では重症になりやすく、注意が必要です。
<u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>		冬季の流行期を迎えています。過去 6 年間で最も高い値で推移しているため、動向に注意が必要です。
<u>感染性胃腸炎</u>		流行の大きかった一昨年ほどではありませんが、昨年と同じくらいの値を推移しています。今後の動向に注意が必要です。
<u>水痘</u>		例年、年末にかけて発生が増加します。増加傾向が続いており、平成 20 年 12 月末に最も高い値となりました。今後の動向に注意が必要です。

：流行、 ：やや流行、 ：散発、×：患者報告なし
：増加傾向、 ：横ばい、 ：減少傾向

3. 気をつけたい感染症とその予防法

- ・ 麻しん（はしか）に気をつけましょう。唯一の予防方法は、ワクチン接種です！
- ・ インフルエンザに気をつけましょう。今年は過去 6 年間で最も流行開始が早かった平成 19 年と同時期に初発の報告がありました。予防には、予防接種、うがい、手洗い、マスクなどが有効です。
- ・ ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、主に秋から冬にかけて流行する感染症です。最も有効な感染予防策は手洗いです。



4. 麻しん予防接種について

- ・ 麻しん（はしか）の予防接種を受けましょう。
- ・ 平成 20 年 4 月 1 日から、 期（1 歳）と 期（小学校入学前の 1 年間）に加え、 期（中 1 相当の年齢）、 期（高 3 相当の年齢）の定期接種が始まりました。2012 年までの 5 年間で、小・中・高等学校世代が全て、2 回の接種を完了する事を目指します。
- ・ 横浜市では、緊急対策として、1 歳～高校 3 年生に相当する年齢で、麻しんの予防接種を受けていない方、麻しんにかかっていない方への、市費による予防接種（任意接種）を実施しています。
<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/oshirase/mr-kinkyu.html>
横浜市の緊急対策は平成 21 年 3 月 31 日で終了します。是非、この機会に接種を受けましょう！

詳しい情報は横浜市衛生研究所ホームページ「感染症発生状況」をご覧ください。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/surveillance/report.html>

こどもの感染症については、

こども青少年局ホームページ「こどもの病気とホームケアこどもに多い感染症編」をご覧ください。

http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo/katei/kodomo_kenkou/homecare.html

